

第6次瑞浪市総合計画進捗状況評価・検証シート

資料2-2
令和4年6月24日
第2回総合計画審議会

I 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	I	みんなで支え合い健やかに暮らせるまち ~健康福祉~	頁	16, 17
	中区分	1	地域福祉・社会保障	作成者	●●
				担当部署	社会福祉課
現状・課題の 追加・変更	コロナ禍を背景に、ライフスタイルの多様化が促進された。地域のつながりに向けて、ICT端末を活用するにしても、高齢者がその進展に追いついていない面もある。 現行計画における「現状・課題」の記載について、瑞浪市における状況の変化や、追記すべき事項があれば記載。				
めざす姿(生活像) を踏まえた成果・課題	【成果】 ・地域福祉を地域全体で支え合うべく、意識の共有が図られつつある。 ・コロナ禍の中にあっても、ネットワークの構築に向けて、工夫を重ねた動きができています。 ・社会保障制度については、健全な運営が進んでいる。		【課題】 ・アンケート結果による目標指標が平成28年度以降は横ばいで推移している。 現行計画における「めざす姿(生活像)」にある「～しています。」という記載に対して、何ができて、何ができていないかを「成果」「課題」として記載。当該箇所が施策評価結果の「これまでの成果」「積み残し(継続)課題」に位置づくイメージ。		

II 施策の内容に対する評価

小区分	番号	施策の内容	施策の実施状況	次期計画における今後の方向と、その理由
1. 地域福祉活動、ボランティア組織の育成・支援				
次期計画における今後の方向(4段階)と、それを選んだ理由について記載。				
①	地域福祉に関する意識の向上を図るため、福祉情報の発信に努めます。	情報発信については、コロナ禍を背景にしながらも、おおむね計画通りに実施できた。 施策の実施状況について記載。	2	1. 継続 2. 充実 3. 見直し・改善 4. 完了
			↓【上記を選んだ理由】	
			多様な媒体での発信が求められるが、発信の受け手に対する支援も重要である。	
②	世代間交流の促進や地域での子育て支援の充実など、支え合いの心を育てる活動を推進します。	支え合いの心を育てる活動については、コロナによって中止・延期が相次ぎ、なかなか実施できなかった。	1	1. 継続 2. 充実 3. 見直し・改善 4. 完了
			↓【上記を選んだ理由】	
状況を注視しながら実施する。				
③	ボランティアグループや市民活動団体の活動の促進を図るため、各団体の連携や支援体制の強化を図ります。	それぞれのボランティアグループの、創意工夫により充実した活動を展開いただけた。また各主体のつながりも強固なものになった。	2	1. 継続 2. 充実 3. 見直し・改善 4. 完了
			↓【上記を選んだ理由】	
引き続き、各団体の連携や支援体制の強化を図る。				
【 主 な 事 業 】	事業名	進捗状況	進捗状況等の説明	
	福祉まつり等開催事業	2	1. 達成 2. 順調 3. 着手 4. 未着手	福祉まつりを通じて世代間交流を促進した。
	地域見守り体制確立事業	2	1. 達成 2. 順調 3. 着手 4. 未着手	各地区のまちづくり推進組織やその他団体と連携し、地域における子育て支援の充実を図った。
	福祉ボランティア活動支援事業	2	1. 達成 2. 順調 3. 着手 4. 未着手	社会福祉協議会と連携し、ボランティア連携協議会のPR活動や支援を行った。
2. 社会保障制度の適切な運用				
①	国民健康保険の財政運営の責任主体となる県と連携して、国民健康保険の健全な運営及び制度の円滑な推進に努めます。	計画に位置づけた「主な事業」の進捗状況について4段階で評価するとともに、進捗状況について説明を記載。	1	1. 継続 2. 充実 3. 見直し・改善 4. 完了
			↓【上記を選んだ理由】	
②	後期高齢者医療制度では、岐阜県後期高齢者医療広域連合とともに、現行制度の円滑かつ安定的な運営に努めます。		1	1. 継続 2. 充実 3. 見直し・改善 4. 完了
			↓【上記を選んだ理由】	
③	関係機関と協力し、無年金者を生まない社会の構築を目指します。		1	1. 継続 2. 充実 3. 見直し・改善 4. 完了
			↓【上記を選んだ理由】	
④	生活保護制度を適正に実施します。		1	1. 継続 2. 充実 3. 見直し・改善 4. 完了
			↓【上記を選んだ理由】	
【 主 な 事 業 】	事業名	進捗状況	進捗状況等の説明	
	国民健康保険事業	1	1. 達成 2. 順調 3. 着手 4. 未着手	
	後期高齢者医療事業	1	1. 達成 2. 順調 3. 着手 4. 未着手	
	国民年金法定受託事業	1	1. 達成 2. 順調 3. 着手 4. 未着手	
	生活保護事業	1	1. 達成 2. 順調 3. 着手 4. 未着手	
3. 新しい地域包括体制の確立				
①	生活困窮者の自立支援制度を適正に実施します。		1	1. 継続 2. 充実 3. 見直し・改善 4. 完了
			↓【上記を選んだ理由】	
②	子育て世代包括支援センターを含めた包括的な相談支援体制の整備を行います。		1	1. 継続 2. 充実 3. 見直し・改善 4. 完了
			↓【上記を選んだ理由】	
③	高齢者の地域ケア体制を障がい者、児童等への支援や、複合課題にも広げた包括支援体制として深化・推進していくことを目指します。		1	1. 継続 2. 充実 3. 見直し・改善 4. 完了
			↓【上記を選んだ理由】	
【 主 な 事 業 】	事業名	進捗状況	進捗状況等の説明	
	生活困窮者自立支援事業	1	1. 達成 2. 順調 3. 着手 4. 未着手	
	総合相談窓口設置事業	1	1. 達成 2. 順調 3. 着手 4. 未着手	

III 協働の状況

施策に関する、市民、団体・事業者との協働の取組状況	市民、団体・事業者との協働に向けて必要なこと	施策の協働可能性
さまざまな主体との関係構築が進んでおり、地域包括体制の確立に向けた動きが進んでいる。 施策に関連する協働の取組状況を記載。	引き続き、広く市民、団体・事業者の協働を進めながら、施策に取り組んでいく必要がある。	C

協働可能性の基準

A	市民が中心の取り組みが望ましい
B	市民が主導しながら、行政が側面的支援を行う取り組みが望ましい
C	行政が主導しながら、市民の参加・協力による取り組みが望ましい
D	行政が中心の取り組みが望ましい

市民・民間との協働のために必要となる考え方、方策等について記載。

下記の協働可能性の基準から選択。